

福山医療生協組合員活動ニュース

NO. 13

2022年 2月 3日

発行：福山医療生協 組織部

第4回食料&日用品無料広場を開催！77人分配布 「助かっています、これでまた元気で頑張れます」



受付風景 物資を渡すのみ



ネパールの留学生のみなさん

コロナまん延防止等重点措置が2月20日まで延長される中、1月31日（月）に第4回食料&日用品無料広場を開催しました。今回は、感染リスクを最小限にするため、受付時に検温し、初めての方や要望のある方にはアンケートを記入して頂きました。基本は、食料品・日用品・トイレットペーパー、ティッシュのセットを持って帰って頂くのみとしました。9時の開始前からフードバンク福山、生活と健康を守る会の紹介等で20数名が来場しました。また、ネパールからの留学生がアパートに貼ったポスターを見て多く来場しました。その中で、狭い部屋に2人で住んでいるネパールの留学生には布団一式を届けました。要望としては、食料品希望が多く、トイレットペーパーやティッシュはいつも喜ばれます。その他、27センチの靴や、腰回り88センチの冬用ズボン、LLのセーター、冬用ジャンパー等、衣服の要望がありました。当日、福田常務理事から水菜と大根の差し入れがあり、来場者に持って帰って頂きました。水菜と野菜は重宝しますと持って帰られた男性は、「助かっています。これでまた元気で頑張れます。」と言われ、主催者としてもうれしい取り組みとなっています。

先日、みろくの里の日本語学校の先生から「生徒はイスラム教なので、日用品だけ20人分いただけないでしょうか」という問い合わせがあり、3日に取りに来られました。

無料広場が回を重ねる度に、来場者とのつながりや新しい広がりが出来ている実感があります。一つは、食料品スーパー3店舗にポスターを貼らせていただいておりますが、そのポスターを見て、物資を届けてくださる方がいることです。二つ目は、留学生とのつながりが濃くなり、暮らしに必要な布団や洗濯機等を支援できていることです。三つ目は、社会福祉協議会や地域包括支援センター、フードバンク福山、生活と健康を守る会との連携が出来たことです。当日早朝には、地域包括支援センターの方が物資を持って見学に来られました。

今回、新規来場者14名、再来者37名、ケアマネが自宅に届けが6軒、日本語学校20名分を合わせて77名分でした。

次回の開催は、3月31日（木）を予定しています。お米の寄贈をお願いします。